

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	13110	電話	042-769-8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	管理 係
事務事業名	保育所児童健康管理推進事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	7年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
保育所児童の健康管理については、保育所の施設長、保育士等との緊密の連携のもと、保育所嘱託医に重要な役割を担ってもらっている。このため、相模原市医師会の保育園医部会が保育所児童の健康管理に関する調査研究を進めると共に、日々保育に携わっている保育士の知識の修得など、医学的な資質の向上のための支援を行い、乳幼児の健康管理の推進、保健衛生の向上を図ることを目的とする。	相模原市医師会保育園医部会 対象数 150人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
講演会の実施 平成14年7月10日(水)「子どもの心の発達のとらえ方」 平成15年2月14日(金)「子育てと俳句」	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	参加者数	研究会および講演会の年間参加者数	研究会および講演会の参加者数で医学的な資質の向上の支援の規模を判断する。	163	218	150	0	0
	活動回数	年間の研究会および講演会の回数	研究会および講演会の活動回数で活動成果を判断する。	2	2	2	0	0

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	90	90	90	0	0
	人員・時間数	40	40	40	0	0
	人件費	166	166	166	0	0
	その他経費					
	合計	256	256	256	0	0
特定財源						
対象数		163	218	150	0	0
対象の単位あたり経費		1.6	1.2	1.7	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	保育士にとっては、目標に近い参加者数が得られ、医学的知識の普及活動を行なうことができた。
(2)必要性 評価 C ▼	A: 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 平成7年度からの活動は、年に2回の講演会の開催してきたが、事業の目的のひとつである調査研究を行なう機会を持つに至らなかった。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	参加者は保育園嘱託医および保育士であるが、その専門性の違いから、講演会の趣向の相違が生じ、医師には興味の薄い内容となった。
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 講演会は、目標に近い参加人数となったが、医師の参加が伸び悩んだ。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	私立保育園、認定保育室、家庭保育福祉員および公立保育園へ周知し、参加を呼びかけている。より多くの人に参加できるよう、近年の開催は平日の夜としていた。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明:	手段	補助金の交付が開始された平成7年度からの8年間で、事業成果が得られたと考えられ、補助金交付を終了する。
		削減額	90 千円

11 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 平成7年度より、年に2回の講演会を行っており、保育士の医学的な資質の向上の目的は達成されたと考える。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--